

現在の子どもの様子		ねらい	行事	自己評価
<p>・梅雨明けも早く、暑い日が続くが元気に過ごす。また、プール遊びや水遊びが十分楽しみ去年まで水が苦手な子ども今年も顔に水がかかっても泣かずに参加していた。泥遊びも子ども同士で考えながら道や川を作っていた。また、暑さによる疲れで体調を崩す子もいたが、元気に過ごしていた。</p> <p>・プールなど準備や身支度の流れがわかるようになり、スムーズに行動できるようになった。また、プールでの約束事やルールを守って活動することができた。</p> <p>・子ども同士で小さなトラブルはあるものの、少しずつ話し合っ解決するようになってきた。</p>		<p>・保育者や友だちと一緒に、夏ならではの開放的な遊びを楽しむ。</p> <p>・生活に必要なことを、自分なりに考えて行う。</p>	<p>・避難訓練 (16日)</p> <p>・おはなし会 (17日)</p> <p>・夏祭り (23日)</p> <p>・英語 (24日)</p> <p>・幼児集会 (29日)</p> <p>地域との関わり</p> <p>・訪問に対して挨拶したり、プール解放時に声をかけて関わりをもつ。</p>	
内容	環境構成	保育士の配慮		取り組みの状況と保育士の振り返り
<p>養護生・情(健)教育(環・人・環・言・表)</p> <p>・水の危険性を知り、プールでの決まりを守って安全に遊ぶようにする。</p> <p>・夏の一番暑い時期の生活の仕方を知り、快適に過ごすようにする。</p> <p>・全身を使って水を楽しみ、水の心地よさを感じる。</p> <p>・自分のプール遊びでの目標に向かって取り組む中で、友だちに励まされたり、共に達成感を味わい自信に繋がるようにする。</p> <p>・身近な夏の虫(カブトムシやセミ)に興味を持って観察したり世話をしようとする。</p> <p>・自分の気持ちや困っていることや感じたことを言葉で伝えようとする。また、経験したことを保育者や友だちに話したり、聞こうとする。</p> <p>・みんなで歌ったり、踊って身体を動かしたりして、表現することを楽しもうとする。</p> <p>・夏祭りに向けて、異年齢との活動を楽しみにしていく。</p>	<p>・水遊びの約束の再確認をし、自分で考える機会をつくる。</p> <p>・休息の必要性を伝え、十分な休息が取れる場所や時間を確保する。</p> <p>・みんなで楽しめるゲームや、友だちと触れ合う遊びを用意する。</p> <p>・一人一人の目標を明確にし、友だちと応援し合う場をつくる。</p> <p>・夏の虫や自然に関する絵本や図鑑を用意しいつでも見られるようにする。また、飼育ケースを用意し子どもたち飲みやすい場所に置く。</p> <p>・話しやすい雰囲気や発表しやすい環境にしていく。</p> <p>・歌ったり踊ったりしながら、身体を動かして、音楽に触れる環境をつくる。</p>	<p>・慣れたところに水遊びの事故の危険性が高まるので、子どもたちの行動を見落とさず、安全に過ごせるようにする。</p> <p>・活動のバランスを考慮する。また、体調の変化に注意をし、一人一人の健康状態を観察する。</p> <p>・自信を持って活動に取り組む姿が増えているので、引き続き友だちと励まし合ったり、認め合う場をつくってつながりを深めたり自信に繋げていく。</p> <p>・子どもの発見や驚きに共感し、継続して世話ができるようにする。</p> <p>・話を聞くときの姿勢を繰り返し知らせ、自分で意識したり気づけるようにする</p> <p>・話をする側と聞く側を整理し、どちらも満足できるような対応をする。</p> <p>・保育者も一緒に楽しんで歌ったり、身体を動かして楽しさを伝え共感していく。</p> <p>・夏祭りを楽しく参加できるように、保育者で話し合い十分に準備や企画をすすめていく。</p>		
<p>食育</p> <p>・食事のマナーを意識しながら、意欲的に食事をする。</p> <p>・いなりご飯を作って食べる。</p>	<p>・野菜の絵本や図鑑を置き、食材に興味を持てるようにする。</p> <p>・楽しんで取り組めるよう、一人一人の器やスプーンを準備する。</p>	<p>・箸の使用は個々の進み具合を見ていく。また、姿勢が悪いとこぼすなどを知らせていく。</p> <p>・栄養士と事前に打ち合わせし確認する。</p> <p>・クッキングの感想を言える場をつくる。</p>		